

被災者支援体制の強化特別委員会 会議録（要点筆記）

令和7年7月28日（月）

午後3時00分 開議

議 会 会 議 室

○委員長（坂井美穂）

ただいまから被災者支援体制の強化特別委員会を開催します。協議題1「調査事項について」を議題とします。

委員会の方向性について、委員長案をお伝えします。令和6年能登半島地震では多くの集落が孤立し、高齢者や障害者などの要配慮者への支援が届きにくい事例が多発しました。避難生活の長期化による「災害関連死」の防止は大きな課題です。

半田市では75歳以上の独居高齢者が5,000人を超え、避難行動要支援者も多数登録されています。南海トラフ地震発生時には、甚大な災害関連死のリスクが予測されます。本委員会では、初期対応から復旧・復興までの各フェーズにおいて、命と暮らしを守るための支援の強化に繋がります。

主な調査対象は、要配慮者（高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児等）、避難所外避難者（在宅、車中泊）、および広域避難者です。特に把握が困難な避難所外の方々については、行政側からリーチしていく必要があります。

課題として、安否確認・見守り体制の構築、DXを活用した避難所受付や避難者名簿のデジタル管理、個人情報保護と支援の円滑化を両立する仕組み作り、自治体間連携、災害ケースマネジメントの導入などを挙げ、効果的な仕組みの構築を目指して調査してまいります。

続いて、半田市の現状について当局に説明を求めます。

○地域福祉課長（山本勇夫）

半田市の現状についてご説明します。まず「避難行動要支援者名簿」と個別避難計画についてです。

自力避難が困難な重度の要介護者や障害者等を対象に名簿を作成しています。平時からの情報共有に同意を得た方については、自治区や民生委員に情報を共有し、日頃の見守りや訓練に活用しています。

個別避難計画（私の避難情報共有シート）については、令和7年2月に全対象者へ案内を送付し、具体的な支援者や緊急連絡先等の情報を収集しました。現在、策定済み件数は倍増しており、約8割から9割が完成しています。具体的な記載例を示したことで、より回答しやすい形に変更したことが要因と考えております。

また、発災後の福祉支援として、指定避難所内に「福祉スペース」を設けるイメー

シ案を策定中です。福祉専門職の派遣体制についても、市内の介護サービス事業所等との協定締結を進めています。

○防災監（出口久浩）

各災害フェーズにおける市の動きと避難所外避難者への対応について説明します。

発災直後の「超急性期」から「慢性期」まで、BCP（事業継続計画）に基づき優先業務を整理しています。在宅・車中泊避難者への対応については、市内6箇所の「地域拠点支部」が中心となります。ここでは各中学校区の避難所情報の集約や、避難所外避難者への物資提供、ニーズ把握を行います。

被災者支援システムについては、今年度、罹災証明の発行から支援制度の管理までを一元化する「被災者支援ソリューション」を導入しました。11月頃の講習会を経て、迅速な生活再建支援に向けた運用体制を確立してまいります。

○副委員長（渡邊昭司）

民生委員への協力依頼について、現場の受け止めや地域の温度差はどのようになっていますか。

○地域福祉課長（山本勇夫）

7月の会議で、名簿に基づいた訪問と計画の精度向上をお願いしました。地域によって非常に熱心な地区もあれば、負担感を感じる地区もあり、温度差があるのが実情です。そのため、あくまで「義務や責任を負うものではなく、無理のない範囲で」という前提でお願いをしております。

○加藤美幸委員

個別避難計画を提出したことで、「必ず助けに来てくれる」と対象者が誤解する懸念はありませんか。

○地域福祉課長（山本勇夫）

その懸念は確かにあります。民生委員による訪問時のコミュニケーションを通じて、共助の重要性と限界について丁寧に説明していく必要があると考えています。

○有留麻由委員

視覚障害などで名簿登録を躊躇している方や、在宅避難を希望する方の把握はどうされますか。

○防災監（出口久浩）

基本的には避難所外、在宅避難の扱いとなります。地域拠点支部等にご家族などが登録に来ていただくことで、マンパワーに余力があれば備蓄品をお配りするなどの対応も可能になります。

○委員長（坂井美穂）

しばらく休憩します。

休憩 午後3時20分

再開 午後4時12分

○委員長（坂井美穂）

会議を再開します。休憩中の協議により、本委員会の調査テーマとして「個別避難計画の実効性強化」「要配慮者の支援体制強化」「避難所外避難者へのDX活用による把握」を重点項目とすることに決定いたしました。

この課題解決に向けた先進地の視察先を募集します。8月4日夕方5時までに候補があればご連絡ください。

次に「その他」として日程調整を行います。県外視察の候補日は1月8日・9日を第1候補とし、予備日を含めて調整します。今後の委員会日程については、9月5日および9月29日に開催することといたしますがよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり。】

それではご予定ください。そのほか何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり。】

ないようですので、以上で本日の特別委員会を終わります。

散会 午後4時14分